

## 開催セミナー

## 第77回 農楽マッチ勉強会

日 時	2019年6月16日(日) 13:30~16:00	場 所	大阪駅前第2ビル6階 大阪総合生涯学習センター 第2研修室
-----	------------------------------	-----	----------------------------------

## 講演者

ヨガインストラクター 武田明子氏・株式会社小谷 小鍛冶直実氏・土肥ポン太氏

## タイトル 大阪能勢からの農業たより

■普段着そのままヨガ体験 / ヨガインストラクター 武田明子氏

勉強会の導入として、着替えなしで誰でも簡単にできるヨガをレクチャーしてくださいました。参加者のほとんどはヨガ未体験でしたが、「血流が良くなった」「身体が柔らかくなった」とすぐに効果を実感。普段の農作業やオフィスワークの合間に取り入れてみてはとのアドバイスをいただきました。

■株式会社小谷（小谷養鶏場）小鍛冶直実氏

車椅子メカニック、デイサービス、丹波篠山での農業研修等と様々な経歴をお持ちで、現在、青果物バイヤー、整体師をしながら、大阪能勢の養鶏場で従業員として活躍されている小鍛冶氏。「養鶏場はタマゴだけじゃない!! 大きな悩みのタネは未知の可能性」と題して、ご自身が鬱になって苦労した経験と今後の新たな事業展開について語っていただきました。約5,000羽の鶏を飼育する小谷養鶏場では、濃厚な黄身と強いコシが特徴の「こたに産（うまれ）たまご」、噛み締めるたびに旨味が溢れる「熟成親鳥」、そして鶏の排泄物を使って作られた「発酵堆肥」を販売されています。地域の農業生産者と繋がり、消費者に安心して食べてもらえる「循環型農業」を目指して、これまで産業廃棄物として処理していた悩みのタネだった鶏の排泄物を「発酵堆肥」にして地域の農業生産者に使っていただいたり、農業生産者から「クズ米」「クズ豆」を譲り受けて鶏の飼料にしたりする取り組みを実践。今後は、大阪発の新しいブランドづくりを目指して、肉質が良いのが特徴の純国産鶏「岡崎おうはん」の飼育に挑戦されるとのことです。

■土肥ポン太氏

八百屋「ポン太青果」を経営し、2016年から自ら農業生産も行っている「野菜芸人」の土肥氏（吉本興業所属）。お笑い芸人から八百屋、農業を始めることになった経緯、新規就農での苦労、これからの農業のビジョンを語っていただきました。農業を始めたのは、八百屋業を通して生産者の方々との出会いがあったこと、八百屋の従業員の中に農業経験者がいたことがきっかけ。知り合いがいた大阪能勢を訪問して「一目惚れ」し、新規就農で土地を借りて農業を始めたものの、その土地は水はけが悪く、水路の水は水田に使用するからと使わせてもらえず、獣害にも苦しまれたそう。補助金や助成金も受けられず、農機具の購入等で出費がかさみ、「出費の割に儲からない」「もうやめようか・・・」と悩んだ時期も。しかし、ブログで募集して農場にお客さんを呼ぶイベントを開催したところ、来場された方にとっても喜んでもらえ「また来たい!」という声をもらい「観光農園」を目指すことにされたそうです。現在は、お笑い芸人の経歴を生かして、テレビ局やスポンサーを巻き込んで農業番組「ポン太Village」を企画して、「観光農園」というビジョンに向かって前進されています。

内容

文責

石原みほし